

第6学年 特別の教科 道徳（道徳科）学習指導案

1. 日時・場所 令和7年9月18日（木）3時間目

2. 学年・組 6年2組（33名）

3. 主題名 誠実に生きる

A-2 誠実に、明るい心で生活すること。

4. 教材名 「手品師」（「きみがいちばんひかるとき」光村図書）

5. 主題設定の理由

(1)ねらいとする価値について

第5学年及び第6学年の指導の観点は「誠実に、明るい心で生活すること。」である。この段階においては、自分自身に対する誠実さがより一層求められる。誠実に行動するためには、自己の過ちを認め、改めていく素直さとともに、何事に対しても真面目に真心を込めて、明るく楽しい生活を心掛けようとする姿勢を持つことが大切である。過ちや失敗は誰にでも起こり得ることである。そのときに、うそを言ったり、ごまかししたりすることがある。このことによって、他者の信頼を失うばかりか、自分自身の中に後悔や自責の念、強い良心の呵責などが生じる。それらを乗り越えようとするのが正直な心であり、自分自身に対する真面目さであり、伸び伸びと過ごそうとする心のすがすがしい明るさでもある。このような誠実な生き方を大切にすることを育てていくことが重要である。

指導に当たっては、一人一人の誠実な生き方を大切にしながら、みんなと楽しい生活ができるようにしていくことが大切である。一方で、よくないことと知りつつも自分の意に反して周囲に流されてしまうことや傍観者として過ごしてしまうことは、決して心地よいものではなく、後ろめたさから、誇りや自信を失ってしまうことにつながることを考えられるように指導することが必要である。

(2)児童について

本学級の児童は、挨拶や返事を元気に行う明るさや、些細なことでも感謝を伝えられる優しさを持つ児童が多い。また、下級生との交流を通して、最高学年としての自覚を持ち、役割を果たそうと誠実に真面目な態度で意欲的に取り組んでいる。一方で、宿題を忘れるなど不利な立場のときには、その場しのぎの言い訳を考えてごまかしてしまうことが

あり、「明日はやってくる。」と自分で約束を決めても守れないこともある。以上の様子から、誠実で明るく生きることの大切さについて大多数の児童は理解しているが、実際の生活の中で自分が不利な立場になると、回避しようとしてうそを言ったり、ごまかしをしたりして、一時しのぎをしてしまう児童がいると考えられる。

そんな児童に、本時を通して誠実に行動することが誇りにつながることに気付かせる機会を持ちたい。

(3)教材について

本教材は、大劇場に立つことを夢見る手品師が、男の子と交わした約束と、友人からの誘い（大劇場に立つチャンス）とで葛藤した末、少年との約束を選択する内容である。葛藤した末に男の子との約束を守った手品師の気持ちを考えることで、自分自身に対して誠実に行動することの素晴らしさについて考えを深めたい。

6. 本時のねらい

手品師の心の葛藤を考えることを通して、自分なりの誠実について考え誠実に生きようとする心情を育てる。

7. 本時の展開

|           | 学習活動・主な発問  | 予想される児童の反応               | 指導上の留意点                 |
|-----------|--|--------------------------|-------------------------|
| 導入<br>2分  | 主題に関わる身近な事例を紹介し、主題に対する児童の考えを知る。<br>T 昨日友達と遊ぶ約束やったんやけど忘れられてて2時間遅刻されてん。どう思う？<br>C 約束守らへんとか最悪やな。<br>T みんな約束って言葉言ってくれたと思うけど、今日は約束についてのお話を聴んでいくよ。 | ・約束って大事だな。<br>・約束は守るべきだ。 | ○誠実という言葉の既存イメージを明確にさせる。 |
| 展開<br>40分 | 教材「手品師」の読み聞かせを聞く。<br>教材「手品師」を読んで考える。   |                          |                         |

|   |  |   |
|---|--|---|
| <p>○登場人物を確認する。<br/> <b>T</b> じゃあまず物語について確認していきよ。誰が出てきた？<br/> C 手品師。<br/> <b>T</b> 他には？<br/> C 男の子。<br/> <b>T</b> 手品師ってどんな人？<br/> C 売れてない。腕はいいけど大劇場には出れてない。<br/> <b>T</b> 手品師はどんな風になりたかったの？<br/> C 大きな劇場で手品したい。<br/> <b>T</b> 男の子ってどんな子？<br/> C お父さんがいない。お母さんも帰ってこない。さみしい。<br/> <b>T</b> 男の子は手品を見たときどんな気持ちやった？<br/> C うれしい。楽しい。<br/> <b>T</b> お父さんとかお母さんがいなくてさみしいんだよね。でも手品を見てうれしそうなんだよね。手品師どんなことを考えたと思う？<br/> C 男の子の力になりたい。男の子を笑顔にしたい。</p> <p>○男の子との約束を確認する。<br/> <b>T</b> 手品師と男の子はどんな約束をしたの？<br/> C 明日も手品を見せる約束。<br/> <b>T</b> 男の子と別れた後なにがあったの？</p> | <p>登場人物<br/> ・手品師<br/> →売れていないが腕はよい。<br/> ・男の子<br/> →お父さんは亡くなっており、お母さんは帰ってこない。</p> | <p>それぞれの登場人物がどんな人物か確認する。<br/> ○男の子と会う約束をしていて、男の子が楽しみにしていることをおさえる。<br/> ○男の子はとてもさみしくて男の子の気持ちを楽しませるのは手品師しかいないことをおさえる。</p> |
|---|--|---|

|  |  |   |
|--|--|---|
| <p>C 友人から電話。<br/> <b>T</b> どんな内容？<br/> C 大劇場で手品をしないか。<br/> <b>T</b> そのときの手品師ってどんな気持ち？<br/> ○友人の「いい話」を聞きながら、手品師はどんなことを思っただろう。<br/> C チャンス。夢がかなう。<br/> <b>T</b> それだけ？<br/> C 男の子との約束を守らないと。<br/> <b>T</b> そうなんだ。約束してたよね。男の子との約束も大事だし夢も叶えたいよね。みんなならどうする？大劇場に行く人？男の子の方に行く？(拳手させる。) どうして？<br/> C 夢を叶えたい。<br/> →T そうなんや。でも男の子と約束してて男の子には自分しかおらんのやろ？それでいい？<br/> C 男の子の方に行く。<br/> →T でもさ、ずっと夢やったんやろ？ほんまにいいん？<br/> <b>T</b> 結局手品師はどうした？<br/> C 男の子の方に行った。</p> | <p>・こんなチャンス二度とない。<br/> ・自分の夢を叶えたい。<br/> ・今までの努力を無駄にしたいくない。<br/> ・男の子との約束を守らなければ。<br/> ・男の子を悲しませたくない。<br/> ・劇場に行って夢を叶える。男の子のところに行く。</p> | <p>○夢である大劇場でのステージと、男の子と交わした約束との間で葛藤している心情に共感させる。<br/> ○それぞれの立場について考え、自分だったらどうするかを理由とともに考えさせる。</p> |
| <p>○手品師はどんな思いで男の子との約束を選んだのだろう。</p>   |  |   |

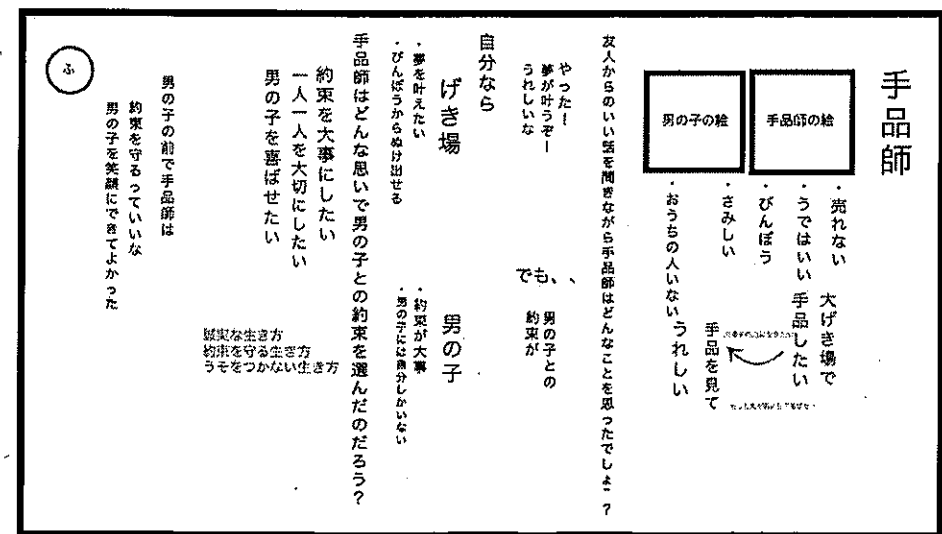
|   |  |  |
|---|--|--|
| <p>C 男の子を喜ばせたい。</p> <p>T そうなんや。それって手品師はどんな生き方してる？何を大切にしてるん？</p> <p>C 約束を守る生き方。<br/>言ったことは実行する生き方</p> <p>○手品師が男の子の前で手品をしているときの気持ちを考える。</p> <p>T そんな生き方してたんやな。この後男の子の前で手品をしたときどんなことを考えていたと思う？</p> <p>C 喜んでくれてうれしいな。</p> <p>T 今日は約束を守ることや誠実について勉強したね。思ったことを書きましよう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・男の子の笑顔が見たい。</li> <li>・一人一人のお客さんを大切にする手品師でありたい。</li> <li>・男の子を喜ばせたい。</li> <li>・男の子との約束を大事にしたい。</li> </ul> | <p>○男の子との約束を優先した手品師の思いについて考えることで、誠実に生きるこのよさに気づかせる。</p> <p>○手品師の選択が正しいかどうかではなく、手品師が、自分が後悔しない選択をしたというところに着目させる。</p> <p>○手品師はどんな生き方を大切にしたいのか触れるようにする。</p>                         |
| <p>終末3分</p>   | <p>本時の学習を振り返り、自分の考えをまとめる。</p> <p>○今日の学習を振り返って、手品師の生き方から学んだことを書きましよう。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・約束したときにはそれを必ず守りたい。</li> <li>・手品師のように、自分に正直に生きる選択がしたい。</li> </ul> <p>○悩んだ末の自分の決断に対し、すがすがしさや未練を感じる手品師に共感させながら、誠実であることの大切さについて考えを深める。</p> |

### 8. 評価の視点

自分の目先の利益を優先するのではなく、自分の心に誠実に向き合い、誇りを持って生きることが大切だと気づいている。

登場人物の姿や友達の考えをもとに、自分に誠実であるとはどういうことかについて、自分の見方を広げている。

### 9. 板書計画



# 「手品師」

6年( )組 ( )

◎手品師はどんな思いで男の子との約束を選んだのだろう。考えて書こう。

◎今日の授業をふり返って、手品師の生き方から考えたことを書こう。

メモ